

# 講演会

# 講 演 会

7月27日(土)      13:00～15:30

「21世紀における看護職の役割」

講師            南 裕子  
(兵庫県立看護大学長・日本看護協会会長)

## 南 裕子先生のプロフィール

### 〔略歴〕

- 1965 年 高知女子大学家政学部衛生看護学科卒業
- 1965 年 横浜市民病院勤務
- 1967 年 アメリカ合衆国での看護実践の研修
- 1970 年 高知女子大学助手
- 1972 年 ヘブライ大学ハダサ医学部社会医療学科修士課程修了
- 1972 年 高知女子大学講師、助教授
- 1982 年 カリフォルニア大学サンフランシスコ校看護学部博士課程修了
- 1982 年 聖路加看護大学教授
- 1993 年 兵庫県立看護大学学長
- 1999 年 日本看護協会会長

### 〔学会及び社会における主な活動〕

- 1993-現在 WHO Global Advisory Group on Nursing and Midwifery, 委員
- 1995-現在 兵庫県精神保健福祉審議会委員
- 1999-現在 日本看護協会会長
- 1999-現在 日本災害看護学会理事長
- 1999-現在 日本生命倫理学会理事
- 1999-現在 日本看護科学学会評議員
- 2000-現在 兵庫県阪神淡路大震災復興計画後期 5 カ年推進プログラム策定委員会委員
- 2001-現在 厚生労働省医道審議会 保助看分科会

### 〔主な著書〕

- 南裕子・野嶋佐由美共監修：ナースによる心のケアハンドブック，照林社，2000
- 南裕子他：「看護における研究」，日本看護協会出版会改訂版，1999
- 南裕子他：「看護系大学における研究の倫理審査体制の試案」，日本看護科学学会誌 18(1):60-70, 1998
- 南裕子：「災害看護学構築に向けての課題と展望」，看護研究，32(3):177-185, 1999
- 南裕子監修：地域精神保健活動論，メヂカルフレンド社，1997
- 南裕子編：基本的セルフケア看護「心を癒す」，講談社，1996
- 南裕子編：「阪神淡路大震災—その時看護は」，日本看護協会出版会，1995

## 21世紀における 看護職の役割

兵庫県立看護大学  
南 裕子

---

---

---

---

---

---

---

### 新しい時代とは

- グローバリゼーションから宇宙時代へ
- 人間と他の生物、環境との関係の転換
- 人と人、人と社会の関わり方の転換
- 人とヒト、遺伝子そして保健医療福祉

---

---

---

---

---

---

---

### 保健医療福祉のパラダイム・シフト

- 救命中心医療からQOL指向へ
- 病気ー治療から健康増進へ
- 福祉措置から自立指向の保険へ
- 専門家中心から利用者中心へ



情報開示と自己決定

---

---

---

---

---

---

---

## 新しい時代へ

### 看護の変革

- 国民・住民・市民感覚を活かす
- 市民の力を強めるサービス
- 他分野との連帯・共生
- 真の専門家としての看護力
- 災害に備える体制づくり
- 看護学の発展を促す環境づくり

---

---

---

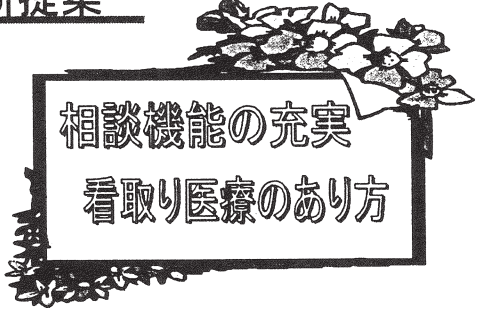
---

---

---

---

## 21世紀に向けた 新提案



相談機能の充実  
看取り医療のあり方

---

---

---

---

---

---

---

## 相談機能の充実

出産  
子育て  
思春期  
心の健康  
健康  
生活習慣病  
療養生活  
家族問題  
虐待  
介護  
：

様々な相談

医療機関

気軽でない  
混雑をます  
医療費を増す

まちの保健室 構想

看護職者に気軽に健康相談を

---

---

---

---

---

---

---

## 「まちの保健室」

住民が地域の身近な場所で、いのちと生活にかかわる(健康上・生活上の)問題を、看護職や保健医療福祉の専門職と一緒に考える「場」と「機能」を指す。

住民の主体的な健康づくりと、生活の質(QOL)の向上を支援し、疾病予防と健康増進に貢献する。

---

---

---

---

---

---

---

## まちの保健室の「場」

### 定位置型

- ★道の駅・鉄道の駅
- ★郵便局・公民館
- ★デパート
- ★訪問看護ステーション
- ★診療所・病院外来
- ★看護協会の会館

### 移動型

- ★出前式・巡回型

### 常設型

- ★定期的な会場

### イベント付帯型

- ★看護の日
- ★健康祭り

---

---

---

---

---

---

---

## 看取り医療のあり方

21世紀は多死時代

最高の完結を迎えるために

看護職が看取りを

65歳以上の高齢者人口

1999年 2051万人  
↓  
2015年 3188万人

特養での葬儀  
疼痛緩和ナース  
24時間訪問看護

---

---

---

---

---

---

---

**訪問看護ステーションにおける  
看取りを可能とする必要条件**

緊急時の訪問ができる  
24時間連絡体制がシステムとして整っている



在宅医療の整備は、介護サービスと比較しかなり遅れている。

家族に依存……

！条件を満たす訪問看護の整備の拡充

---

---

---

---

---

---

---

**政策決定への場への参加**

- ＞ 国から市町村まで議員候補者の育成
- ＞ 議員の増加と支援活動
- ＞ 行政機関における看護職の増加
- ＞ NGO、NPO活動の重要性が増す
- ＞ 活動基金の調達
- ＞ 他の専門および市民団体との連携
- ＞ 男女共同参画時代への対応
- ＞ 国際機関との連携

---

---

---

---

---

---

---



**21世紀、  
国民の信頼に応える  
ライフサポーターをめざして  
ネットワークする看護職**

---

---

---

---

---

---

---